

とやま観光塾

令和6年度 グローバルコース塾生募集要項

1 グローバルコースについて

このコースは、富山県内において、外国人旅行者を対象とした着地型観光事業（ガイド業・旅行業含む）等で起業を目指す者や企業内で同事業を立ち上げる際の責任者等を対象に、事業の開始に必要な知識や技能を習得し、事業計画を策定する研修を実施するものです。

コース名	対象者	概要	定員	講義回数	受講料
グローバルコース	富山県内での外国人旅行者を対象としたビジネスアイデアを持つ民間事業者（※1）及び起業を目指す者 【具体例】インバウンド・高付加価値旅行者向けのガイド業や旅行業、ランドオペレーターで起業・事業立ち上げを目指す者等	事業開始に必要な知識や技能を習得し、ビジネスプランを策定する ■ビジネスプラン作成、きめ細かなフィードバック、リーディングカンパニーでのOJT（※希望者）、海外研修（※希望者より選抜）等	5名	7回	50,000円 （※2）

※1 国内旅行者向け観光事業を行っており、新たに外国人旅行者向け観光事業を立ち上げる者、他業種の事業者で観光業に新規参入する者等（県内の既存企業等に在籍しながら研修を受講し、研修修了後、着地型ツアー企画・運営など新規のインバウンド事業を企業内で立ち上げる場合も応募可能です。）

※2 受講料のほか、交通費・宿泊費等の実費負担が必要になる場合があります。

コースのポイント

(1) 新規事業立ち上げに必須となる知識・スキルの習得

マーケティングやマネジメントに関する知識、事業実施に必要なコミュニケーション能力などを習得します。

(2) 実践的な事業計画の策定

習得した知識を活用して、受講生自らが事業計画を策定し、更にブラッシュアップしていくため、高い専門性を持った講師、スタッフがフォローします。

(3) ネットワーク形成

事業を成功させるためには信頼できる仲間づくりが不可欠です。受講生間はもとより、関係事業者等の前でビジネスプランを発表するプレゼンテーションの場を設け、ネットワークの構築を図ります。

(4) 実務研修や海外研修など多様なメニュー

希望者には飛騨での実務研修や海外研修の機会を提供するほか、最先端で活躍する観光関係事業者による最新の動向を捉え本質的な要素を考えるセミナー、論理的思考・問題解決スキルを身に着けるeラーニングなど、多様なメニューを実施します。

このような方におススメします！

- ・ 需要増が見込まれるインバウンド事業に参入したい
- ・ 新たにインバウンド向けの事業を起業したい
- ・ 社内でインバウンド部門を立ち上げたい

2 日程・カリキュラム（予定）

回	日程	会場	時間	カリキュラム
開講式	6月24日（月）	県民会館304	14:00 ～ 16:45	開講式（1）基調講演：西村幸夫 塾長 （2）講義：山田桂一郎 主任教授 交流会（17:15～18:45）
1	7月11日（木）	県民会館601	13:00 ～ 17:00	<マーケティング・フレームワーク-1-> 4P、3C等のフレームワーク（※1）の活用法を習得し、自身の事業における環境分析を実施できるようになることを目指す
2	7月25日（木）		13:00 ～ 17:00	<マーケティング・フレームワーク-2-> 環境分析を終えた後、STP検討（※2）を経て、自身の計画におけるCSF（※3）構築法等、競争力の高い事業内容の精緻化を目指す
3	8月5日（月）		13:00 ～ 17:00	<プロモーション・プランニング> プロダクト開発と同時に、ターゲットに合わせた販路の明確化と販路ごとの販売促進計画の策定を目指す
4	9月6日（金）		13:00 ～ 17:00	<事業マネジメント設計> 立ち上げ前・立ち上げ期・成長期・定常期など、事業の状況に応じて適切な管理を実施し、持続的に事業を運営するために必要な手法の習得を目指す
5	9月17日（火）		13:00 ～ 17:00	<中間発表> 研修生各自が策定した事業計画について、研修生内でシェアし、フィードバックを実施する。それにより、自身の改訂項目の確認と、他者へのフィードバックを通じて、自らの学びの最大化を目指す
6	11月8日（金）		13:00 ～ 17:00	<コミュニケーション&プレゼンテーション> 事業推進に不可欠な関係者との関係構築を見据えた、成功確率の高いコミュニケーション技法の習得を目指す
7	11月21日（木）		13:00 ～ 17:00	<プロジェクトマネジメント> アイデアを実現化させるための、自身の立ち上げ期から定常期までの事業運営に関する管理手法の習得を目指す
修了式	12月12日（木）	県民会館304	13:30 ～ 17:00	修了式 （1）受講生プレゼンテーション （2）修了証等授与 （3）講評 交流会（17:15～19:00）

ランドオペレーターで起業・事業立ち上げを目指す方には、ランドオペレーター育成セミナーを実施します（2回程度。日程別途調整。ビジネスプランがランドオペレーター事業で無い場合であっても、希望者は参加可能です）

- ・各回において、事前課題の提示と提出課題に対するフィードバックを行います。
- ・上記のほか、下記内容を実施します。
 - 最先端で活躍する観光関係事業者による最新の動向を踏まえたセミナー（日程は別途調整）
 - 研修効果測定（研修開始時、終了時）
 - 論理的思考・問題解決スキル習得のためのオンライン講座（希望者のみ）
- ・修了式では、関係事業者等の前でビジネスプランを発表する機会を設ける予定です。

★カリキュラム・日時・会場・講師等は予定であり、変更する場合がありますので、予めご了承ください。

※1 4P = Product（製品・サービス）、Price（価格）、Place（立地・流通）、Promotion（販促・広告）の頭文字をとったもので、マーケティングを構成する4つの要素のこと。

3C = Company（自社）、Customer（顧客）、Competitor（競合）の頭文字をとったもので、マーケティング分析のこと。これらを定量的・定性的に分析することで、経営課題の発見や、事業戦略の策定に活用できるとされている。

※2 STP = Segmentation（市場の細分化）、Targeting（狙う市場）、Positioning（自社の立ち位置）の頭文字。顧客を細分化し、狙う顧客を見定め、顧客にとって自社の立ち位置を決める際に用いることができる。

※3 CSF = Critical Success Factor。目標達成のために重要と考えられる要因。重要成功要因。

講師紹介

株式会社美ら地球^{ちゆ ぼし} 代表取締役 CEO **山田 拓 氏**

外資系コンサルティングファームを経て、2007年、株式会社美ら地球を創業。観光協会や自治体向けの基本計画作り等の支援業務に加え、2009年より、国内外の SATOYAMA に魅了される人々の1ストップソリューション「SATOYAMA EXPERIENCE」立上げに着手。国内外から高い評価を得ている。



専門分野：新事業開発、プロジェクトマネジメント、マーケティング、商品開発を中心に、新たなモデルの企画・設計から立ち上げまでを支援。専門業界はツーリズム分野。グローバルスタンダードのツーリズム推進に関わるなど多くの事業を手がける。

委員等：内閣官房地域活性化伝道師、(一社)山陰インバウンド機構 アドバイザー、福岡県観光審議会委員、京都市観光振興審議会委員、観光庁持続可能な観光指標に関する検討会委員、観光地域づくり法人の機能強化に関する有識者会議委員、総務省地域力創造アドバイザー、内閣官房クールジャパン・プロデューサー、NPO 法人 日本エコツーリズム協会 正会員 等

3 特別研修等 (希望者のみ)

希望者は下表の特別研修等を受講できます (※別途費用が必要となる場合があります)。

日程	会場	時間	カリキュラム
7月1日(月)	県民会館 611	10:00 ~16:00	(1) 講義：富山県の歴史・文化・産業等の地域学 (2) 体験：富山の「食」(ます寿しの食べ比べ) (12:10~) (3) 講義：富山の観光資源、とやまの土産 (13:50~)
8月9日(金)	県民会館 701	10:00 ~14:30	(1) 特別講義：高付加価値観光入門 山田桂一郎 主任教授 (2) 特別講義：高付加価値観光の実践者に学ぶ(13:00~) 前田薬品工業(株) 前田大介 氏
8月20日(火)	県民会館 401	13:30 ~19:00	(1) 特別講義 (株)日本総合研究所、(株)日本政策投資銀行 藻谷浩介 氏 (2) 講義・体験：日本酒に関する講義及び日本酒試飲会(17:00~)
9月9日(月)	県民会館 611	10:00 ~16:30	(1) 講義：観光DX入門 (10:00~) (公社)福井県観光連盟 佐竹正範 氏 (2) 講義：インバウンド入門 (13:00~) 平安楽 古田直子 氏 (3) 講義：観光客の立場に立ったおもてなしの心構え (15:00~)
9月26日(木)	県民会館 611	13:00 ~15:00	特別講義：地域の観光の課題を考える 山田桂一郎 主任教授
11月11日(月)	県内	13:00 ~17:00	(1) 特別講義：観光地域づくり実践者から全国の成功事例を学ぶ 西村幸夫 塾長、(株)テラスオフィス 田村寛 氏 (2) 体験：地元ガイドによるまち歩き
11月中旬 開催予定	県内	1日又は 半日	体験：富山の上質な観光を体験する

4 実務実習（OJT）（希望者のみ）

希望者は、岐阜県の飛騨地域において訪日外国人向けにツアーサービスを提供するリーディングカンパニー「(株)美ら地球」を研修地とする起業支援プログラムを受講できます（旅費・滞在中の生活費等は自己負担）。

ツアーの現場で実際に働きながら、ガイド技術を身につけるとともに、ツアーのプロデュースや起業・就業等に必要な知識・技術の習得を目指します。

回	日程	会場	カリキュラム
希望者	7月～8月頃までの間で 1～2週間程度 (日程は別途調整)	飛騨市	【実務実習（OJT）】 1. アクティビティ・ツアー運営 2. 宿泊施設運営 3. 新規ツアープログラム開発 4. マネジメント 等 ※詳細な内容は研修生と事前に協議して決定

〈研修受入企業〉 (株)美ら地球（岐阜県飛騨市古川町貳之町8番8号）

大人気アクティビティ「飛騨里山サイクリング」を含んだ外国人向けイナカ旅の総合プラットフォーム「SATOYAMA EXPERIENCE」を運営。創業者の山田氏は、前職にてビジネススクール開校に携わるなど、ビジネス関連のグローバル人材育成を数多く手掛けており、組織としてもオープンなカルチャーを持ちプロフェッショナル人材が育ちやすい環境。社内で英語が飛び交うインターナショナルな企業です。



飛騨里山サイクリングの様子



(株)美ら地球の皆さん

5 海外研修（希望者のみ）

希望者は、グローバルな視野を持ち、持続的に事業運営を進めるために、海外に実際に足を運び、見聞を広げると共に、発地サイドの関係者との連携構築を視野に入れたプロモーション活動にも従事する研修を実施することができます。

回	日程	会場	カリキュラム
希望者	10月頃 (1週間程度、日程は別途調整)	海外	【海外研修】 1. エージェント&ステイクホルダー訪問&営業実習 2. 各国のサービス経験

- ・海外研修先は、欧米豪地域を想定していますが、ビジネスプランを踏まえ調整します。
- ・海外研修費は、原則として自己負担となります。
- ・選考により、受講者海外研修旅費の1/2（上限20万円）を補助します（上限2名）。
- ・海外研修生は、ビジネスプランの見通しや受講状況等を考慮して選考しますので、ご了承ください。
- ・研修内容は、大きく分けて以下の2種にて構成されます（具体的な内容は、研修生と協議して決定します）。

(1) エージェント&ステイクホルダー訪問&営業実習

リアルな営業現場に同行し、SATOYAMA EXPERIENCE の営業担当として、指導者の同席の下、販売促進活動を実施します。また、富山県や自身で企画中のプロダクトのプレゼンも実施し、今後のコネクション獲得も併せて視野に入れた活動を行います。

(2) 各国のサービス経験

対象とするマーケットの攻略には、他国で実施されている同一ターゲット向けのサービスを自らが経験することが大事なため、訪問先にて、提供されているサービスに参加します。

6 応募手続き

下記URLよりダウンロードした受講願書に必要事項を記載し、履歴書（任意様式）と併せてメール（郵送・FAXでも可）にて申込みください。

とやま観光塾ホームページ：<http://www.info-toyama.com/kankomirai/>

<提出先>

とやま観光塾 事務局（富山県 地方創生局 観光振興室内）

E-mail toyama_kanko@esp.pref.toyama.lg.jp

住所 〒930-8501 富山市新総曲輪1-7

FAX 076-444-4404

7 募集締切

締切

令和6年6月5日（水）必着

8 選考の方法及び結果の発表

次のとおり選考を行います。

選考の方法	結果の発表
受講願書による書類審査および面接により、応募者の起業への意欲の程度、適性、能力等を総合的に判断して行います。	選考後、6月中旬頃に直接本人に通知します。

9 受講手続き等

(1) 受講手続き

塾生となった方へ受講料納付書を送付しますので、受講料（資料代、会場費等の一部負担として）を最寄りの金融機関で納付してください。

(2) その他経費

- ①受講料のほか、特別研修や実務研修、海外研修では交通費・宿泊費等の実費負担が必要になる場合があります（参加希望者のみ）。
- ②研修会場までの交通手段や、その際に要する交通費等は塾生が各自負担してください。
- ③交流会参加時には、別途負担金が必要になります。

10 その他

- ・修了するためには、出席率など所定の要件を満たすことが必要です。
- ・修了式の際、講座受講を通して得たビジネスモデル構築のための方策や、今後自ら取り組むビジネスプラン等について、プレゼンテーションを行っていただきます。
- ・県又は(株)美ら地球がカリキュラムに沿った研修の継続が困難であると判断した場合は、研修を中止する場合があります。
- ・既存企業等に在籍しながら研修を受講する場合は、職場の了解を得て、必要な手続き等を実施のうえ、応募ください。